

事業所名		ウィズ発達支援センター 児童発達		公表日		令和7年 2月	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		朝の会では人数・内容によりグループを分け、適切な課題を提供することが出来るよう工夫をしたり、戸外での活動や他施設を利用するなど、のびのびと遊ぶことができる活動を設定しています。	活動の場として新規利用施設を開拓をし、安心・安全に活動する場所を広げていきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		子どもの人数に対して、職員の数は多めに配置されており、ヒヤリハットや事故になる前に気付くことが出来るようにしています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		階段を昇り降りする必要があるため、注意喚起の張り紙を提示するなど、配慮しながら移動を促しています。またロッカーや棚など、子どもにとって危ない角が多いため、ケガを防止するためのクッションを取り付けるなどの対策をしています。	ミーティング等で話し合い、危険箇所と思われる個所の対策をしています。設備的な面で対策が取れていない箇所があるため、今後検討します。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		生活支援センターの利用者さんを中心に玩具・教材の消毒をしていただき、降園後は職員が室内設備の消毒を行い、清潔で安心することの出来る環境を整えています。また、年2回、就労支援センターの利用者さんにカーペット洗浄を行っていただいています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		状況により、個別の部屋での対応をしています。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		週1回のミーティングで話題にし、振り返りを行っています。 ・定期的に職員面談を行い、目標の設定・振り返りを行っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		評価表はもちろん、保護者会やモニタリングの場で保護者に意見や要望をお聴きし、業務改善に繋げています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		ミーティングや面談にて意見が伝えられるような場を設定し、業務改善に繋げています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		外部評価は行っていません。今後、検討していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		法人内研修や外部研修に参加し、自己研鑽に努めています。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		支援プログラムを作成、ホームページにて公表予定です。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		本人・保護者のニーズを伺い、客観的に課題を分析し意向に沿った個別支援計画を作成するよう心がけています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		全職員での作成は難しい状況ではありますが、定期的にミーティングの時間を設け、共通理解を図ることが出来るような場を設けています。	週に1回、ミーティングの時間を設けていますが、迅速に対応すべき課題など、話し合いに十分な時間を設けることが難しいのが現状です。放課後等デイサービスとの兼務職員との時間の調整や送迎などの業務を踏まえ、支援外での時間調整を検討します。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		個別の記録用紙に個別支援計画を記載し、常に意識することが出来るようにし、担当職員が個別支援計画の振り返り・評価を行っています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		行動観察・保護者からの聞き取りから評価をしています。	共通のアセスメントツールは使用していないため、今後の検討事項とします。	

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		個別支援計画にガイドラインに沿った項目を記載し、具体的な取り組みや内容を記載しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		プログラムは各月の担当者が中心に進めています。月案は担当職員が主となり検討しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		季節の行事や外出学習・買い物学習など、様々な社会体験を積むことが出来るよう工夫をしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別の課題だけでなく、小集団で習得することが出来る事柄や経験する事出来るものにも着目し、支援計画に盛り込んでいます。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		活動予定表で役割を明確化し、確認しています。細かな打ち合わせ等は現場にいる職員で確認し、後に他職員に共有しています。	支援開始時間を念頭に置き、申し送り等の時間の捻出をしていくことが課題です。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		送迎職員や放課後等デイサービスと兼務している職員がおり、職員全員が揃うことが難しいため、日々の振り返りや伝達は現場にいる職員で行い、書面にて確認しています。週1回のミーティングで振り返りを行い、より良い支援に繋がっています。	勤務形態の違いから、支援終了後に職員全員が集まることは難しさがありますが、週に1回のミーティングの時間を有意義に行います。また、必要事項については記録等で確認をする態勢を整えます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の様子を記録し、ミーティングで情報交換を行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的に確認し、個別支援計画見直しの判断を行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		管理者をはじめ、支援を行っている職員が参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		地域の保健センターや医療機関、相談室・園・各種学校と連携し、支援を行っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		移行支援として、園訪問や支援会議を通じて情報提供・情報共有を行い、安心して移行することが出来るよう心がけています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		地域小や特別支援校と調査票を通しての情報提供の他、見学・懇談、移行支援会議にて情報提供を行っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		専門機関との情報交換、他機関の研修に参加する機会を設けています。	
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			地域の園と交流することの出来る場を必要に応じて設けていきます。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時や連絡ノート・共有アプリ、面談等で状況や課題を共有し、支援を行っています。	保護者と伝え合った内容を職員間で共有する時間が少なく、各々で把握している状況です。職員間で情報交換をする時間の確保や、記録等で把握する方法を検討していきます。	

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ペアレント・トレーニングは行っていませんが、他機関が行う研修案内を配布などの情報提供を行っています。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		利用開始の際にお話しています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		面談の際に意向をお聴きし、作成しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		モニタリング・計画書を確認していただいています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的に面談の時間を設けています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者会・放課後等デイサービスの説明会を開催し、保護者同士が交流することの出来る場を設けています。	お仕事をされている方、お父様の参加も視野に入れ、開催日時・回数について検討していきます。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		迅速に対応することが出来るよう、心がけています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		活動予定表やお便りの発行、ホームページの更新を定期的に行い発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		利用開始時に個人情報取り扱いについて説明を行い、漏洩がないよう細心の注意を払っています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		必要に応じて伝達のための配慮を行っています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		買い物学習やなかよし給食等で地域のお店を利用し交流を図っています。	令和8年度、ウィズ・フェスタの開催を予定しています。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		地震・火災・水害の訓練を実施しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務計画を策定し、必要な訓練を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		・利用開始時に服薬・既往症等の確認を行っています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者と確認を行い、お弁当・おやつを持参していただき、外注のお弁当に関しては除去食をお願いしています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成、法人内で研修・訓練を行ったり、ミーティングで確認をしています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		緊急時の連絡先を周知、また、引き渡し訓練を行っています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットの記入を行い、対応策を検討しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		法人内外研修への参加、振り返りチェックシートの実施を行っています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		利用開始時に施設に関してのお話をさせていただいたり、個別支援計画に記載しています。	個別支援目標や支援内容を踏まえ、職員間で統一することが出来るようにします。	